

新宮山彦ぐるーぷ第2138回

行仙宿巡回整備

- ◇ 実施日； 7月18日(日) 雨
- ◇ 参加者； 沖崎吉信、梶野照雄

2名

18日に予定していた葛川の捜索が増水のため中止になったので、行仙宿小屋の外壁コーキング作業をするつもりで行仙宿に向かった。



登山口に到着

杭にシートをかける

雨の奥駈道

朝7時過ぎ、吉野町を走行中に沖崎さんから電話があり「新宮は雨が降ってる」と連絡があった。川上村の杉の湯付近まで来ると、南の伯母峰あたりに黒い雲が広がってきた。柏木あたりから雨が降り出した。強い雨ではないが、屋外の作業はできないなあと思いな

がら浦向の三差路に着く。暫くして沖崎さんが到着、10分ほど山川さんを待ったが現れる気配がないので二人で登山口に向かう。登山口には村吉さんがデポした木杭が70本ほどあり、沖崎さんがブルーシートで覆った。用意してきたコーキング剤を持って行仙宿に向かう。傘を持ってきたが、広げることなく行仙宿に到着。



倉庫の大掃除

大量のペットボトル

棚を増設

コーキング剤を倉庫に入れて小屋内を掃除する。玄関を入った土間に水が少し溜まっていた。ストーブの前に陣取り火を入れていると目の前に水滴が落ちてきた。上を見ていると四角の排気筒の角から10秒に一度くらいの頻度で水滴が落ちていた。排気筒の上から内側を伝って雨水が侵入しているようだ。

雨は相変わらず降り続いていた。ゆっくり昼食を摂って、午後は倉庫の大掃除をする。トイレ上の棚を空にして、倉庫にあったポリタンクやブルーシートなどを棚に移す。2リッターのペットボトル

が約60本出てきた。大きなゴミ袋に入れて持ち降ろすことになったが、4袋が必要だった。足場パイプとジョイントがあつたので棚を一段増設し、収納場所を増やした。



土間の水たまり



トイレ上の棚



カビの生えた柱



ペットボトルで満載



間伐の作業道



置いてあつたものを移動して地面が見えるようになったら、柱の根元の方にカビが一杯付いているのが判った。日当たりが無く、常に暗いので、乾燥することがない。何か換気する方法を考えなくてはならない。

倉庫の大掃除が一段落したので、荷物をまとめて下山する。

モノレール途中の木々に青いテープが巻かれていたが、栈木を入れた作業道が造られていた。間伐が行われるようだ。次回来た時には隙間が広くなって、明るくなっているかもしれない。

(記：梶野)

行動タイム

09:40 登山口→10:28 行仙宿 14:30→14:55 登山口